

幼稚園 園まつり製作 年中編

11月10日（金）から第53回園まつりが始まります。子供たちに「園まつりって何の日か知ってる？」と聞くと、「幼稚園のお誕生日をみんなでお祝いする日だよね！」と、年少さんの頃教わったことを覚えていて、嬉しそうに答えていました。

日頃から、遊びに必要なものは自分たちで見つけたり、作ったりしている子供たち。

ゆり組さんは、6月にたくさん集まった廃品素材を使って動物を作ることでも盛り上がりました。さらに、そこからイメージが広がり、動物の住む森をみんなで作って楽しんだ経験をしています。

こうして1学期の頃から自分の作ったものに愛着を持って遊んでいたため、9月に廃品素材がたくさん届くと、早速“動物のお友達を作ろう”ということになりました。

子供たちからは、動物のアイデアがいろいろと出てきて、それぞれに作りたいものをイメージしているようでしたので、何の動物を作ろうか、どんな色にしようかと考えながら動物の絵を描きました。動物園で印象に残っている動物を作りたいと意気込む子もいれば、動物の図鑑を見て決める子もいます。絵を描いたことで作りたい気持ちもさらに高まり、わくわくしているようでした。

こうしてはじまった動物づくり。

どんな素材や道具と出会い、作り進めていったのか、出来上がるまでの作り方を中心にお伝えします。

・土台を作る

袋に新聞紙を丸めたペーパーマッシュを詰めて動物の顔と体の土台を作ります。土台が硬くなるようにギュッとつめることがポイントだと伝えると「新聞紙小さくなれ〜」と力いっぱい手で新聞紙を詰めていました。

手足や耳、しっぽを選ぶときにも「どれにしようかな〜」「これも違うな…これでもないな…」と自分のイメージに合う素材を吟味して選びました。

また、袋を閉じるときは綿テープを使います。普段から使い慣れているセロハンテープよりも太くて硬い綿テープは切ることも貼ることも一苦労。そんなとき、いいことを思いついたという顔をしながら「ちょっと手伝ってくれない？」と友達に声を掛け、協力して製作を行う姿がみられました。一人では難しいけれど友達と一緒にならできる！ということを経験しました。

・和紙を貼る

土台が完成したら次は和紙を貼って動物に色を付けます。和紙は小麦粉のりを使って貼ります。はじめて触る小麦粉のりの感想は「とろとろしていて気持ちいい！」という声も多く、楽しんで和紙を貼っていきました。

・顔や飾りを付ける

装飾に使うビーズやモールを用意すると、目を輝かせながらどんな顔にしようか選びました。年少さんで使ったことのあるポンドで装飾をつけて完成させると、「すごくかわいくできた！」と嬉しそうに抱きしめる子もいました。

完成した動物たちを「お散歩させたいな…」と紐をつけて園内を散歩したり、おままごとのお客さんやペット役として参加させたりして遊んでいます。

子供たちが心を込めて作った作品たちは保育室に展示してありますので、ぜひご覧ください。

園まつりまでお楽しみになさってください。

年中ゆり組担任



早く作りたいな～♪



紙芝居見ていてね！



キャップがいるなら一緒に探すよ！



お客さん役になっているよ